

第9回 岐阜文学散歩

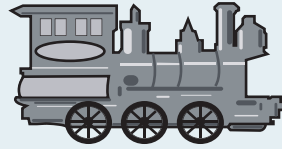
「岐阜駅の文学」

講師：大野鵠士先生

開催日時：平成19年6月23日(土)

開催場所：講義…ハートフルスクエアG

タウンウォッチング…JR岐阜駅周辺



現在のJR岐阜駅は、明治28年に1月に「加納」として出来た停車場から6代目となります。この120年ほどの歴史の中で、文学作品にも数多く登場しています。森田草平「煤煙」、舟橋聖一「白い魔魚」、水上勉「その橋まで」、川端康成「篝火」…。岐阜駅の変遷と、それぞれの時代の岐阜駅の様子ととけ込んだ文学を紹介していただきました。また、特急つばめの話を交えながら、楽しい講義をしていただきました。

タウンウォッチング

完成開近のシティー・タワー43

デッキから望む⑥(名鉄岐阜駅側)

十六銀行本店前⑤。昔はここに駅が…

鉄道敷の名残③カーブを描く路。

7から東を望んだ風景

デッキを東に望む⑦

集合写真(駅南口)

おわりに…

講座の様子

さあ、出発!

昔からの陸橋が残る①

かつての回転場付近②での解説

8 御懸道コース

START

GOAL

説明ポイントなど
 ①昔からの陸橋が残る
 ②回転場付近
 ③鉄道敷の名残
 ④初代岐阜駅付近
 ⑤2代目岐阜駅付近
 ⑥デッキから望む(名鉄岐阜駅側)
 ⑦デッキから望む(駅前)

マップ：ぎふしまちあるきマップ(岐阜市の「まちあるきマップ」を作ろう実行委員会)より
 主催：まちづくり団体交流会・(財)岐阜市にぎわいまち公社